



東京マラソン財団／お知らせ

本日（6月29日）、一般財団法人東京マラソン財団の理事会にて、東京マラソン 2017 の大会要項が決定しましたので、お知らせいたします。併せて、東京マラソン 2017 関連について下記のとおりお知らせいたします。

記

- 東京マラソン 2017 大会要項 (資料1)
 (参考) コース MAP
- 寄付金及びチャリティランナーの募集について (資料2)
- オフィシャルパートナーについて (資料3)
- 東京マラソン財団ボランティア登録制の開始及び
 東京マラソン 2017 ボランティア募集（抽選）について (資料4)

【一般の方のお問い合わせ先／申込みに関するお問い合わせ】

東京マラソンエントリーセンター

電話：03-6635-5351 平日 10 時 00 分～17 時 00 分

東京マラソン 2017 大会要項

大会名称	東京マラソン 2017 (英文名: Tokyo Marathon 2017) 兼第 16 回世界陸上競技選手権大会 (2017/ロンドン) 男子マラソン代表選手選考競技会 兼第 101 回日本陸上競技選手権大会男子マラソン 兼アボット・ワールドマラソンメジャーズ シリーズ X		
主 催	一般財団法人東京マラソン財団		
共 催	公益財団法人日本陸上競技連盟、東京都、読売新聞社、日本テレビ放送網、フジテレビジョン、産経新聞社、東京新聞		
後 援 (予定)	スポーツ庁、国土交通省、観光庁、特別区長会、公益財団法人日本体育協会、 公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、一般社団法人日本経済団体連合会、東京商工会議所、 公益社団法人東京都医師会、公益財団法人東京防災救急協会、 東京民間救急コールセンター登録事業者連絡協議会、公益社団法人東京都看護協会、 公益財団法人東京観光財団、東京都町会連合会、東京都商店街振興組合連合会、東京都商店街連合会、 公益財団法人東京都体育協会、東京都スポーツ推進委員協議会、報知新聞社、ラジオ日本、 サンケイスポーツ、夕刊フジ、サンケイリビング新聞社、ニッポン放送、フジサンケイビジネスアイ、 SANKEI EXPRESS、扶桑社、東京中日スポーツ		
主 管	公益財団法人東京陸上競技協会		
運営協力	公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、特定非営利活動法人関東パラ陸上競技協会		
特別協賛	東京メトロ		
協 賛	スターツ、山崎製パン株式会社、アシックスジャパン株式会社、大塚製薬株式会社、 ビー・エム・ダブリュー株式会社、近畿日本ツーリスト株式会社、第一生命保険株式会社、 セイコーホールディングス株式会社、東レ株式会社、日本マクドナルド株式会社、株式会社みずほ銀行、 株式会社セブン・イレブン・ジャパン、アサヒビール株式会社、 アメリカン・エキスプレス・インターナショナル、Inc.、全日本空輸株式会社、カゴメ株式会社、 株式会社フォトクリエイト、全国労働者共済生活協同組合連合会、ユニカミノルタ株式会社、 セコム株式会社、久光製薬株式会社、大和証券グループ、資生堂ジャパン株式会社、 日本光電工業株式会社、広友ホールディングス株式会社、株式会社シミズオクト		
種 目	マラソン (男子・女子、車いす男子・女子) 10 k m (ジュニア&ユース・視覚障害者・知的障害者・移植者・車いすの各男子・女子)		
開催日時	2017 年 (平成 29 年) 2 月 26 日 (日)	9 時 05 分	車いすマラソン・10 k m スタート
		9 時 10 分	マラソン・10 k m スタート
		10 時 50 分	10 k m 競技終了
		16 時 10 分	マラソン競技終了
テレビ放映	日本テレビ系全国ネット		
コ ー ス	マラソン: 東京都庁～飯田橋～神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～高輪～ 日比谷～東京駅前・行幸通り (日本陸上競技連盟・IAAF/AIMS 公認予定コース) 10 k m: 東京都庁～飯田橋～神田～日本橋 (記録は公認されない・順位はネットタイムによる)		

平成 28 年 6 月 29 日
一般財団法人東京マラソン財団

競技規則	国際陸上競技連盟（IAAF）並びに日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。 なお本大会は、IAAF が認定するゴールドラベルレースであるので、IAAF Road Race Label Regulations（IAAF ロードレースラベリング規定）も適用される。また、IAAF の規則により、ドーピング検査を実施する。 車いすマラソンに関しては、国際パラリンピック委員会 陸上競技部門（IPC ATHLETICS）競技規則及び本大会規定による。なお、IPC ATHLETICS の規則により、ドーピング検査を実施する。
制限時間	マラソン：7 時間 車いすマラソン：2 時間 10 分 10 k m：1 時間 40 分 車いす 10 k m：35 分 ※1 制限時間は、号砲を基準とする。 ※2 交通・警備、競技運営上、関門閉鎖時刻を設ける。関門以外においても著しく遅れた場合は、競技を中止させる。
定員	マラソン：35,500 人 10 k m：500 人
参加資格	1) マラソン 大会当日満 19 歳以上 1-1) 一般 6 時間 40 分以内に完走できる者 1-2) 準エリート 「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2017」に定める推薦基準に達する者 1-3) エリート ・2016 年度日本陸上競技連盟登録競技者で、別途定める参加基準に達する者 ・招待選手（日本陸上競技連盟が推薦する国内・国外の者） 1-4) 車いす（一般） レース仕様車で 2 時間 10 分以内に完走できる者 1-5) 車いす（エリート） ・2016 年度日本パラ陸上競技連盟登録者かつ 2017 年 IPC 登録予定者で、大会当日に IPC ATHLETICS 国際クラス（T53・T54）を所持している者。 なおかつ IPC 公認大会で、男子 1 時間 50 分以内、女子 2 時間以内の記録を有する者 ・招待選手（日本パラ陸上競技連盟が推薦する国内・国外の者） 2) 10 k m 大会当日満 16 歳以上 2-1) ジュニア&ユース 大会当日満 16 歳から満 18 歳までの 1 時間 30 分以内に完走できる者（1998 年 2 月 27 日以降、2001 年 2 月 26 日までに生まれた者） ※東京都が東日本大震災復興支援を目的として企画する事業に参加する者を含む 2-2) 視覚障害者 大会当日満 16 歳以上 1 時間 30 分以内に完走できる者 2-3) 知的障害者 大会当日満 16 歳以上 1 時間 30 分以内に完走できる者 2-4) 移植者 大会当日満 16 歳以上 1 時間 30 分以内に完走できる者 2-5) 車いす 大会当日満 16 歳以上 レース仕様車で 35 分以内に完走できる者 ※車いすのレース仕様車とは IPC ATHLETICS の Athletics Rules and Regulations 2016-2017 に定められた規格の車いすのことを指す。
賞金	マラソン・車いすマラソンの競技成績により賞金を別途定める。
参加料	マラソン：国内 10,800 円、海外 12,800 円 10 k m：国内 5,600 円、海外 6,700 円 ※事務手数料・消費税込み
参加申込み	1) 方法 公式ウェブサイト http://www.marathon.tokyo/ から申込み 2) 期間 2016 年（平成 28 年）8 月 1 日（月）から 8 月 31 日（水）まで 3) 参加者の決定 申込者多数の場合は抽選を行う。 4) 入金 当選者は指定期日までに指定口座に入金のこと。 ※ チャリティランナーの申込みは 7 月 1 日（金）から行う。先着順 3,000 人。 ※ 東京マラソン財団公式クラブ ONE TOKYO プレミアムメンバーを対象とした先行申込みを 7 月 1 日（金）から 7 月 31 日（日）まで行う。3,000 人。 ※「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2017」の概要は公式ウェブサイトを参照のこと。 ※ マラソンのエリート・マラソンの車いす（エリート）の申込みは 12 月から行う。

平成 28 年 6 月 29 日
一般財団法人東京マラソン財団

ランナー受付 2017 年（平成 29 年）2 月 23 日（木）・24 日（金）・25 日（土）
東京マラソン EXPO 2017 会場（東京ビッグサイト）にて行う。
※ 大会当日には、受付を行わない。

- そ の 他
- 1) 主催者の責によらない事由で大会が中止の場合、参加料の返金等は一切行わない。
 - 2) 本大会は、国内の関連するすべての法令を遵守し実施されるものとする。

(参考) コース MAP



TOKYO MARATHON 2017

「東京マラソン 2017」マラソンコース (予定)

〔スタート〕東京都庁 ▶ 飯田橋 ▶ 神田 ▶ 日本橋 (10km フィニッシュ) ▶ 浅草雷門 ▶ 両国 ▶ 門前仲町
▶ 銀座 ▶ 高輪 ▶ 日比谷 ▶ 〔フィニッシュ〕東京駅前・行幸通り



【コースに関するお問い合わせ窓口】

TEL : 03-5579-6333 (平日 10 時 00 分~17 時 00 分 / 土日祝祭日休み)



東京マラソン2017チャリティ (Run with Heart) ～7月1日(金)より寄付金及びチャリティランナーを募集開始～

一般財団法人東京マラソン財団は、「東京マラソン 2017 チャリティ」の寄付金及びチャリティランナー募集を7月1日(金)より、開始いたします。また、各寄付先事業のチャリティ・アンバサダー等によるクラウドファンディングを活用しながら、チャリティ文化の醸成を担っていきます。

つきましては、「東京マラソン 2017 チャリティ」の概要について、下記のとおりお知らせいたします。

「東京がひとつになる日。」をコンセプトに開催してきた東京マラソンはランナーだけでなく、多くのボランティアや応援する人たちを「ひとつにする」ことを目指し、チャリティを実施しています。東京マラソンを走り・支え・応援して下さる人々に、チャリティやスポーツ振興・環境保全・世界の難民支援・難病の子供たちへのサポートといった社会貢献について考えるきっかけを届け、ひとりひとりのハートと社会を繋げていきたい。そんな願いを込めて東京マラソンチャリティ事業を運営しています。

記

■ 寄付金及びチャリティランナー募集要項

名 称：東京マラソン 2017 チャリティ

寄付先事業：寄付先事業一覧参照

● 寄付のみ

募集期間：平成 28 年 7 月 1 日(金)10 時 00 分から平成 29 年 3 月 31 日(金)17 時 00 分まで

金 額：任意 ※事務手続きの関係上、1 万円単位での受付となります。

※クラウドファンディングは、1 千円単位での受付となります。

● チャリティランナー

募集期間：平成 28 年 7 月 1 日(金)10 時 00 分から 11 月 11 日(金)17 時 00 分まで

募集人数：先着順 3,000 人

資 格：10 万円以上の寄付をいただいた方で、希望される方

(東京マラソン 2017 の募集要項の資格を満たした方)

※「東京マラソン 2017」参加料 10,800 円は、別途ご負担いただきます。

※法人寄付の募集締切は 11 月 4 日(金)17 時 00 分まで。

※主催者の判断で募集を締め切る場合もあります。

詳しくは <http://www.runwithheart.jp> まで


■ 東京マラソン 2017 チャリティ寄付先事業 (団体名)

一般財団法人東京マラソン財団スポーツレガシー事業	公益財団法人東京都農林水産振興財団
認定特定非営利活動法人カタリバ	公益財団法人東京防災救急協会
特定非営利活動法人国連UNHCR協会	公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン
認定特定非営利活動法人育て上げネット	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本	認定特定非営利活動法人ファミリーハウス
公益財団法人そらぶちキッズキャンプ	公益財団法人プラン・ジャパン ※7月1日より名称を「公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン」に変更
認定特定非営利活動法人Teach For Japan	東日本大震災復興支援事業
公益財団法人東京都スポーツ文化事業団	熊本地震災復興支援事業

■各寄付先事業のチャリティ・アンバサダーからのメッセージ


寄付先：東京マラソン財団 スポーツレガシー事業
大島 めぐみ (おおしま めぐみ) さん
(元女子マラソン日本代表)

2016 大会でチャリティランナーとして初めて東京マラソンに参加しました。世界を目指す未来のアスリートにつなぐためのチャレンジを続けます。自身が多くの方に支えてもらったこと、経験してきたこと、感じたことを一人でも多くの若い世代に伝えていくことで、未来のアスリートの育成につながると信じています。



寄付先：公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
有森 裕子 (ありもり ゆうこ) さん
(元女子マラソン日本代表)


私は、マラソンを通じて多くの方々の応援で元氣とチャレンジする勇気をもらい成長することができました。知的障害のある人たちにもスポーツを通じて、笑顔や頑張るチャンスが増えていくことを願うと同時に、マラソンというスポーツで、彼らの応援と支え合う絆が広がることを願っています。



寄付先：公益財団法人プラン・ジャパン
増田 明美 (ますだ あけみ) さん
(スポーツジャーナリスト・大阪芸術大学教授)


プランの活動地域のラオスを訪問した際、初対面で警戒していた子供たちが、一緒に走ったら、全員笑顔に変わりました。スポーツは言葉の壁を超えるという体験に感動しました。

伴走しながら声援を送ったり、給水を手渡したり、人生の長距離ランナーである子どもたちを色々なカタチで応援していきます。



寄付先：公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン
北澤 豪 (きたざわ つよし) さん
(元サッカー日本代表)

病気と闘う子どもとそのご家族と一緒に過ごせることを願って、スポーツを通じて「ドナルド・マクドナルド・ハウス」を応援してきました。人と人がつながる、そこから生まれたチャリティという「チームの輪」は年々広がりを見せています。今回も「共に支え合う社会」を目指して東京マラソンを走ります。



©馬場道浩

寄付先事業一覧

※【活動内容】は東京マラソン 2017 チャリティの寄付金の使途（予定）です。

○一般財団法人東京マラソン財団 スポーツレガシー事業

スポーツの夢（強化育成）・スポーツの礎（環境整備）・スポーツの広がり（普及啓発）・スポーツの力（社会貢献）の4つのテーマに基づき、スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現を目指します。

【活動内容】

若手アスリートを対象とした人材育成・キャリア支援（強化育成）をはじめ、障害者スポーツの振興（普及啓発）、スポーツを軸とした被災地支援（社会貢献）、スポーツを楽しむ施設の整備（環境整備）

○認定特定非営利活動法人カタリバ（新規）

生まれ育った環境によって意欲・能力を高める機会が左右されてしまわないように、10代に対する学びや対話を通じたキャリア学習機会を届けています。どんな環境に生まれ育ったとしても「未来は創り出せる」と子ども達が信じられる社会を目指し、活動をしています。

【活動内容】

生活困窮世帯の子ども達に、学びと居場所とロールモデルの提供

○**特定非営利活動法人国連 UNHCR 協会**

1950 年に設立された国連の難民支援機関です。紛争や迫害により故郷を追われた難民・避難民を国際的に保護・支援し、難民問題の解決に対して働きかけています。スイス・ジュネーブに本部を置き、約 125 か国で援助活動を実施。この活動を支えるために広報・募金活動を行う公式支援窓口です。

【活動内容】

紛争で故郷を追われた難民の命を守るテントの設置

○**認定特定非営利活動法人育て上げネット（新規）**

すべての若者が社会的所属を獲得し、「働く」と「働き続ける」を実現できる社会を目指し、若者と社会をつなぐサポートを行っています。若者当事者や保護者を支援するだけでなく、支援現場を可視化・体系化し支援者を育成すること、地域社会・行政・企業など若者を支援する担い手を増やすことなど、多岐にわたる活動に取り組んでいます。

【活動内容】

貧困・いじめ・孤食・発達障害、生きづらい子供たちを守る

○**公益財団法人スペシャルオリンピックス日本**

知的障害のある人たちに年間を通じて様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を提供し社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。オリンピックと同様に 4 年毎に夏季・冬季の世界大会を開催しています。現在、世界 170 以上の国と地域で活動が行われています。

【活動内容】

知的障害のある人たちへのスポーツ活動の提供・普及

○**公益財団法人そらぷちキッズキャンプ**

難病とたたかう子どもたちと家族を無料で、医療ケア付自然体験施設（キャンプ場）に招待し、病気や障がいのことを気にせず、北海道の豊かな自然の中で、思いきり遊んでもらいたいと考えています。非日常のキャンプ場で、かけがえのない時間を過ごすことが、闘病中の子どもたちや家族の「休息」になり、「明日を生きるエネルギー」になることを望んでいます。

【活動内容】

難病とたたかう子どもたちと家族を、夢の医療ケア付きキャンプ場に招待

○**認定特定非営利活動法人 Teach For Japan（新規）**

子どもの貧困問題、教育格差の是正を目指しています。厳しい環境に置かれている子どもが多い学校に、さまざまな経験と教育への問題意識、情熱や成長意欲を兼ね備えた方を独自に選抜し、赴任までに研修を行った上教師として派遣します。派遣した教師は子ども達の学力と学習意欲の向上、学習習慣の定着などを目指しています。

【活動内容】

教育格差を是正するために現場に赴任する先生の採用と研修を行う

○**公益財団法人東京都スポーツ文化事業団**

東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館など、スポーツ活動を行う「場」を管理運営しています。年齢や障害の有無に関わらず、誰もが生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツを楽しむことができるよう、みなさんのライフステージにあった様々な事業を展開していきます。

【活動内容】

都民のスポーツの普及・振興

○**公益財団法人東京都農林水産振興財団**

東京都内において、農林水産業の担い手となる後継者の確保育成や農林水産業の振興、森林の保全整備、緑化推進事業等を行い、都市と調和する農林水産業の振興、うるおいと活力ある都民生活の向上、感性豊かな次世代の育成に寄与することを目的に設立された公益財団です。

【活動内容】

「花粉の少ない森づくり」により、健全な森林を次世代に継承

○**公益財団法人東京防災救急協会**

今この瞬間、大きな地震に襲われたら、目の前で大切な人が倒れたら、何を考え、何ができるか。防災館における地震・消火体験や、心肺蘇生やケガに対する応急処置を学ぶことができる救命講習などを通じて、災害時に必要となる知識と技術を 1 人でも多くの方へ広めることで、誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指しています。

【活動内容】

いざという時のための知識・技術の普及による安心して暮らせる社会の実現

○**公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン**

病気の子どもとその家族の為に滞在施設『ドナルド・マクドナルド・ハウス』の設置・運営を行う公益財団法人です。ハウスは、『我が家のようにくつろげる第 2 の家』という理念のもと、ご家族が出来るだけ病気のお子さんのそばで看病できるように地域のボランティアと共に活動を行い、病気と闘う患者家族を心身共に支えています。

【活動内容】

病気と闘う子どもとご家族の為に滞在施設『ドナルド・マクドナルド・ハウス』の建設と運営事業

○**公益財団法人日本障がい者スポーツ協会**

我が国の障がい者スポーツの普及振興を図る統括組織として設立され、以来 50 年を迎えました。近年、障がい者スポーツをめぐる環境は大きく変化し、これまでの歴史や直面する課題等を踏まえ、障がい者スポーツの更なる発展を目指して、「日本の障がい者スポーツの将来像（ビジョン）」を公表し、アクションプランによりその推進を進めています。障がいのある人のスポーツ環境を整え、日本の障がい者スポーツの発展、ひいては活力ある共生社会の創造を実現していけるよう、新たな決意を持って取り組んでいます。

【活動内容】

障がい者スポーツを通して日本の明るい未来を育む

○**認定特定非営利活動法人ファミリーハウス**

ファミリーハウスは日本で最初に重い病気の子どもと家族のための滞在施設を建設した団体です。26 年前、国立がんセンター中央病院小児病棟（当時）の母親と医師、看護師が協力して始めたこの活動は、全国 70 の運営団体 125 のハウスを数えるまでに広がりました。現在、ファミリーハウスは都内で 12 施設 58 部屋を運営しています。

【活動内容】

重い病気の子どもが治療を要する間の患者と家族への滞在施設の提供とケア

○**公益財団法人プラン・ジャパン**（※7月1日より名称を「公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン」に変更）

プラン・インターナショナルは、アジア・アフリカ・中南米の途上国 51 カ国で、子どもとともに地域開発を進める国際 NGO。教育や保健など様々な分野で、貧困地域に暮らす子どもたちの生活改善のために、様々なプロジェクトを実施しています。現在、日本で約 6 万人の方が支援に参加しています。

【活動内容】

インドのカースト制度で差別されている貧困世帯の女の子たちに奨学金を支給

○**東日本大震災復興支援事業**

東日本大震災にて肉親を失った親を亡くした子どもたちが今後も健やかに成長できるよう、安定した学びの機会や夢・希望をもって欲しいとの願いを込めて暖かい支援をおくり被災地 3 県の子どもの支えとなります。

【寄付分配先】

被災地 3 県支援活動団体の「いわての学び希望基金」「東日本大震災みやぎこども育英募金」「東日本大震災ふくしまこども育英募金」へ直接分配

○**熊本地震災害復興支援事業（新規）**

4 月 14 日（木）から発生している熊本地震とそれに伴う地震活動の影響で、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますと共に、被害を受けられた方々とそのご家族の皆様にお見舞い申し上げます。

【寄付分配先】

熊本地震により、被害を受けられた地域の地方公共団体に分配予定

【一般の方のお問い合わせ先／チャリティに関するお問い合わせ】

【大会公式ウェブサイト／東京マラソン 2017 チャリティ】

<http://www.runwithheart.jp>

【東京マラソンチャリティお問い合わせ事務局】

電話：03-5474-2091（平日 10 時 00 分～17 時 00 分）



東京マラソン2017 オフィシャルパートナー（協賛社）について

来年2月26日（日）に開催する「東京マラソン 2017」に向けて、大会をご支援いただく協賛社（オフィシャルパートナー）についてお知らせします。

平成 28 年 6 月 29 日現在

特別協賛 東京メトロ

協 賛 スターツ、山崎製パン株式会社、アシックスジャパン株式会社、大塚製薬株式会社

ビー・エム・ダブリュー株式会社、近畿日本ツーリスト株式会社、第一生命保険株式会社、セイコーホールディングス株式会社、東レ株式会社、日本マクドナルド株式会社

株式会社みずほ銀行、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、アサヒビール株式会社、
アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc.、全日本空輸株式会社、
カゴメ株式会社、株式会社フォトクリエイト、全国労働者共済生活協同組合連合会、
コニカミノルタ株式会社、セコム株式会社、久光製薬株式会社、大和証券グループ、
資生堂ジャパン株式会社

日本光電工業株式会社、広友ホールディングス株式会社、株式会社シミズオクト

オフィシャルパートナーの情報につきましては、随時公式ウェブサイトなどでお知らせしていきます。
東京マラソン 2017 公式ウェブサイト <http://www.marathon.tokyo/>



東京マラソン財団ボランティア登録制の導入及び 東京マラソン 2017 ボランティア申込方法の変更について ～先着順から事前登録・抽選制に～

一般財団法人東京マラソン財団では、東京マラソンなど当財団が主催するイベントを支えるボランティア申込方法について、登録制を導入します。

これに伴い、東京マラソン 2017 のボランティア申込方法は、事前に登録された方から募集を行い、定員を超えた場合は抽選を行います。

これまで東京マラソンのボランティア申込みは、先着順としていましたが、ひとりでも多くの方々に、スポーツボランティアの活動の場を提供し、スポーツボランティア全体のレベル向上、継続的なボランティア活動の促進、若い世代や障害者の参加促進などに寄与できればと考え、今回の仕組みに変更いたしました。

なお、ボランティア登録制及び東京マラソン 2017 ボランティア募集の詳細については、9 月下旬に公式ウェブサイトにてご案内いたします。

○変更点について

2016 大会まで

- ・先着順にて大会ボランティアを受付



2017 大会から

- ・登録制を導入
- ・登録者から大会ボランティアを募集し、定員を超えた場合抽選を行う

※東京マラソンのボランティアについて

東京マラソンのボランティアは、第 1 回の 2007 大会からスタートし、これまでのべ 11 万人を超えるボランティアにご協力をいただき、大会が成功裏に終了しています。そして、10 回記念大会を迎えた 2016 大会では 10 回連続参加したボランティア約 130 人を表彰しました。

東京マラソンのボランティアはスポーツボランティア文化を定着させ、笑顔とホスピタリティ溢れる活動は、大規模国際大会を彩る象徴的な存在となっています。

【一般の方のお問い合わせ先／ボランティアに関するお問い合わせ】 [7 月 1 日 (金) から]

一般財団法人東京マラソン財団 ボランティアセンター 電話：03-6635-5352

(平日 10 時 00 分～17 時 00 分)